

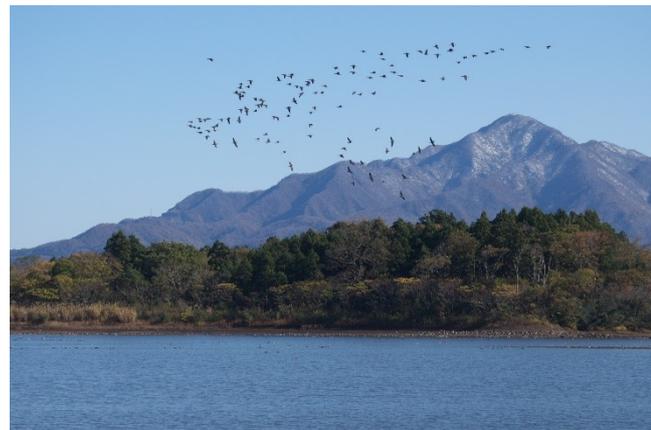
JP090 朝日池・鶉ノ池 (あさひいけ・うのいけ)

新潟県：上越市

位置	N 37°14' E138°22'
面積	80ha

環境構成【湖沼／潟湖／水田／ヨシ原】

朝日池は上越地方頸城平野北部に点在する6つの湖沼群の中で最大で、湖水面積約79haの潟湖である。湖北の西側にはヨシの群落が形成され、湖面にはコウホネ、ヒシ、ジュンサイなどが生育している。東側の湖岸にはマツ林がある。朝日池は農業用水供給の役割があり、季節によって水位が変動する。鶉の池は朝日池の西側に隣接する面積49haの潟湖で、湖沼群の中では二番目に大きい。中央部に半島が突き出すような地形になっており、池の北側は都市公園として整備されている。湖面にはハスが大群落を成して生育し、夏季は湖面を覆うほどである。



写真：岡田成弘

選定理由

A4i	マガン・ヒシクイ
-----	----------

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10パーセント未満）である

保全への脅威

- ・エリアの一部（鶉ノ池）が狩猟対象地域となっている
- ・都市公園化
- ・護岸工事
- ・ブラックバスを対象とした釣り人が水鳥の生息域に入り込んでいる

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
変わらない
- ・IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有

<調査データの入手方法>

生物多様性センターホームページのモニタリングサイト 1000 の調査結果より

- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化はない
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：
普通（70～90%が最適の状態）

保全活動

- ・ 外来種のコントロール：実施者（新潟県立大潟水と森公園）
内容：セイタカアワダチソウの駆除、ジュンサイ復活プロジェクト
- ・ 環境教育活動：実施者（日本野鳥の会新潟県、上越探鳥の会、新潟県立大潟水と森公園）
内容：探鳥会：（日本野鳥の会新潟県）、探鳥会：（上越探鳥の会）、自然観察会：（新潟県立大潟水と森公園）
- ・ 保全のための人材育成活動：実施者（新潟県立大潟水と森公園）
内容：公園サポーター活動「めだかの学校」
- ・ モニタリング調査：実施者（日本野鳥の会新潟県、上越鳥の会）
内容：春冬季水鳥生息調査

IBA サイトの保全に関係する、地域のグループ

- ・ 日本野鳥の会新潟県
- ・ 上越鳥の会

見られる鳥

新潟県上越地方最大の水鳥飛来地であり、秋から冬にかけて3,000羽を越えるヒシクイ（亜種オオヒシクイ）及び3,000羽のマガンが飛来し、越冬する。近年はハクガンが定期的に渡来し、2009年11月には34羽が飛来した。カリガネ、トモエガモ、オジロワシも毎年飛来し、多数のカモ類、ワシ・タカ類をはじめとする多くの鳥類が生息する。

夏鳥	ダイサギ、コサギ、アオサギ、ミサゴ、カワセミ、オオヨシキリ
冬鳥	ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガン、コハクチョウ、オオハクチョウ、ハシビロガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、トモエガモ、カワアイサ、ハジロカイツブリ、チュウビ、ノスリ、オオタカ、オジロワシ、ハヤブサ、ミサゴ、カワウ、ツグミ、オオジュリン

関連団体・自治体・施設等

- ・ 日本野鳥の会新潟県
- ・ 大潟水と森公園



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeBCO, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community